

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市農業公園		
指定管理者	株式会社農業法人ふるる		
設置目的	農業と自然に触れ、親しみ、学ぶ場及び市民との交流の場を提供し、農業の振興及び地域の活性化に資するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日
所管課	産業振興部農林課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	年度	年度	年度	年度
滞在農園利用組数(組)	16				
日帰り農園利用区画数(区画)	21				
コテージ利用者数(人)	2,046				
利用料金(円)	18,535,588				
事業分利用人数(人)	58,158				
事業分収入(円)	74,105,958				
指定管理料(円)	2,000,000				

※事業＝レストラン、加工工房、マーケット、体験(各施設の延べ人数)

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
交流サロン(農業レストラン)の利用人数	38,000	38,000	27,745	73%
管理センター(ふるるマーケット)の利用人数	26,000	26,000	23,259	89%
コテージの利用人数	1,800	1,800	2,046	114%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	18,535,588	人件費	37,468,896
指定管理料	2,000,000	維持管理費	7,690,389
事業収入	74,105,958	事業費	50,992,192
その他	1,195,004	その他	472,664
合計	95,836,550	合計	96,624,141
差額			△787,591

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	自主事業の企画や季節感の演出や健康志向のメニュー開発を行い上半期の利用客数が前年比平均118%と順調に推移していたが、下半期は、消費税の導入と新型コロナウイルスの影響で、前年を下回ったが、さらなる広報の充実に努め、目標達成を図りたい。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	特記事項なし。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	地域団体との連携や地元食材の活用等により、地域の活性化に資する取り組みを展開された。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	お菓子部門等で積極的な加工品開発がされたほか、レストランは地域団体と連携したメニュー開発、マーケット充実のための集荷や営業など、積極的な姿勢が見られた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	小学校への広報や、積極的なイベント企画、ソーシャルネットワーキングサービスを活用した情報発信など、施設の動きをタイムリーに発信し、施設のさらなる認知拡大を図られたことは評価に値する。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	レストランのアンケートからでも満足度が高いことが伺えるほか、フェイスブックの評価も4以上をキープしている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	通年でアンケート調査を実施し、積極的にニーズ把握に努めている。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	特記事項なし。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	時間外勤務の管理など働き方改革を実施し、人件費の抑制に取り組まれたこと、パブリシティの活用により広告宣伝費の減少を図られた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	特記事項なし。
収入増加のための取組が行われたか	○	イベント企画、体験事業の創出など改善が図られた。日持ちのする自社加工品の開発などを進め、さらなる経営改善を図りたい。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	特記事項なし。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	特記事項なし。
施設の平等な利用が行われたか	○	特記事項なし。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	特記事項なし。
情報の公開が適切に行われたか	○	ホームページ、ソーシャルネットワーキングサービスを駆使し、こまめな情報発信ができていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	会計処理は適切。積極的なイベント企画や体験事業の実施により昨年度より増収。黒字化を目指し加工品開発等のレストラン以外での収入増を図りさらなる経営改善を図りたい。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	特記事項なし
備品等の管理が適切に行われたか	○	特記事項なし
危機管理、安全対策などは十分か	○	特記事項なし
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	特記事項なし
(5) その他コメント		
サービス向上	接遇や季節に応じた設えなど、積極的なサービス向上に取り組まれている。収穫祭などの恒例行事による農村の食・文化に加え、万願寺まつりや焼き芋まつり、牡蠣まつりなど季節の食材に応じたイベントの開催や、福祉施設の要望に応じた受入体制づくりなど、公共的なサービスの継続及び向上も大いに評価すべきところである。また、小学校に食に関する手書きのチラシを配布するなど、地域の食育に寄与するとともに、地域団体と連携した健康メニューの開発に取り組むなど地域に根差した施設としての役割を意識した取組が伺える。	
経費削減	働き方改革により人件費の管理に努められたほか、パブリシティの積極的な活用により広告宣伝費を削減し、最小で最大限の広告効果を得たことは評価できる。また、昨年と比べ、消耗品費等の経費削減を継続実施するとともに、サービスレベルを維持し、施設の更なる集客を図るため、オリジナル商品の開発（加工など）に取り組まれたたい。	
施設の維持・管理	多くの人が訪れる公共施設であることをしっかり認識され、消防等の設備や体制を万全に維持されたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.66点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	利用者数が対前年比で増加していることは大変評価できるが、設定目標に対してはかなり少ない。設定目標に問題がないか検討してほしい。 赤字幅の減額を評価する。 農業公園と親海公園との共通の費用に係る支出の表記が分かりづらいので検討を求める。 レストランの利用は、平日と休日で差があると思うが、平日に利用しやすい舞鶴市民の利用を増やす工夫をしてほしい。 交流いちご園の再開は、子育て中の方々にとても喜ばれているのでぜひ続けてほしい。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均